

FP保険通信

NO64 2024.7発行

熱中症予防



熱中症は高温多湿な環境に長時間いることで、熱が体内にこもり起こりやすくなってしまいます。65歳以上の方が半数と言われていて、身近におられる方へ、注意をはらっていただく事で防ぐ事が可能です。年齢が高い方は**室内での熱中症が多く、エアコンや扇風機を使わない事が原因**になっているようです。

予防として、**水分補給**がとても大切です。麦茶は手軽に飲んでいただきやすいのですが、熱中症予防には**塩分の摂取も必要**とされていますので、**経口補水液やスポーツドリンク**なども取り入れていただく方が良いと言われています。またのどが渇いていない場合でも、**一日1.2L程度を目安**にこまめに摂取するように心がけていただきたいと思います。

めまい・だるさ・吐き気などの症状が出た場合は、すぐに**冷たいタオルなどで体を冷やす**事と、経口補水液などを飲んでください。

処置が遅れると死亡に至る熱中症なので、予備知識があると重症化を防ぐ事にもつながりますので頭の隅にとめておいてくださいね。



がんの自由診療

最近「自由診療」という言葉を耳にされた事ありませんか？テレビなどでもよく取り上げられてきていて、関心を持たれている方が多くなってきました。「先進医療」と似ている要素があり、勘違いをされてしまうこともあります、**高額な費用がかかる**とは認識されているようです。**公的医療保険制度が使えない**ため、全額自費となり高額になってしまいます。

通常のがん標準治療では、効果が出なかった場合に、**未承認薬や適応外薬を使う**と効果が期待できる場合があります。しかし金銭面での負担が大きすぎると諦めざるおえない結果になってしまいますが、自由診療を提案された時に受けたいと思われる方も多いと聞きます。

特定病院に指定された医療機関での治療になり、**兵庫県立がんセンター**や、**神戸大学医学部附属病院**、**神戸市立医療センター中央市民病院**、**神戸市立西神戸医療センター**など、多くの病院が特定病院に指定されていますので、受けることは可能ではないでしょうか。

先進医療については、重粒子線や陽子線のがん治療への公的医療保険の適用が順次拡大されてきています。

時代の流れに合わせたがんの治療が今後も進化し続けていくと思われれます。



がん自由診療特約

前述したがんの自由診療を受けたと思った時に、**金銭面でのサポート**をしてもらえる保障が、特約として付加出来るようになってきました。



未承認薬は日本では薬事承認されていない医薬品ですが、欧米などでは先に使用されています。

未承認薬の約40%は、1か月あたりの薬剤費が300万円以上となっていて、一般的にスタートしたくてもなかなか難しいと思われれます。

治療の選択肢があった場合、ご自身で加入している保険からのサポートがあればとても心強いですね。がんは標準治療で高額療養費制度を使っても、長期間になっていくと金銭的負担が大きく生じる病気です。二人に一人とかなりの確率でかかる身近な病気になっています。契約から90日間は免責期間がありますので、早めにご検討いただき、お気軽にご相談してください。

FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間：10：00～17：00 営業時間：9：30～17：30

営業日：月・火・木・金・土 営業日：月～金

ホームページ：右のQRコードから または

ライフプロモーション神戸 で検索

＜取扱保険会社＞ メットライフ生命 アフラック

オリックス生命 三井住友海上あいおい生命

FWD生命 ジブラルタ生命 アクサ生命

東京海上日動あんしん生命 SOMPOひまわり生命

NN生命 三井住友海上火災 ソニー損保

